

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	横浜型キャリアコンソーシアムの展開 ～若年無業者のニーズや生活実態にあった多様な職業訓練プログラムの開発～		
法人名	学校法人岩崎学園		
学校名	情報科学専門学校		
代表者	理事長 岩崎 幸雄	担当者 連絡先	石井 宏光 TEL 045-311-5562
<p>1. 事業の概要</p> <p>若年無業者のニーズや生活実態にあった柔軟かつ多様な短期職業プログラム(IT系講座、教育系講座、ビジネス系講座、オフィス系講座)を、座学研修を行う専門学校と職場体験の協力をいただくNPO団体等とで開発し、期間中に「パイロット講座」と、「若者リバイバル講座」を2回計7講座(12月期、2月期)開講した。事業実施にあたっては、多様な主体の協働で人材育成を図ることを計画している横浜市の「キャリアコンソーシアム」事業と連携した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>(1) 若年無業者の就労支援のためにプログラムを開発、実施することができた。 専門学校に蓄積された教育コンテンツを、ニート等の就労支援にあたっては団体等と連携しながら、再構築し、プログラムとして展開することができた。</p> <p>(2) 行政機関(横浜市)と連携した支援事業とすることができた。 ニート等の就労は喫緊の課題であるということもあり、地元行政(横浜市)と連携することができた。具体的には、マスコミ(新聞、テレビ)へ本事業を紹介頂きながら、事業の推進にあたっては助言をいただいた。</p> <p>(3) 若年無業者の就労支援にあたる団体とのネットワークを構築できた。 若者を支援するNPO法人、社会福祉法人、企業が本事業へ職場実習への参画・連絡協議会への参加をいただいたことにより、体験を含んだプログラムが展開できた。今後においても、機能するネットワークである。</p> <p>②事業によって得られた成果</p> <p>【実施したプログラム】</p> <p>(1) IT系講座:PCトータルサポートセミナー for LAN 専門学校において、職場体験である訪問型パソコンサポートを行うために必要なパソコンやネットワークの基礎知識や設定方法などを学ぶ。職場体験では、実際の訪問先である商店街においてパソコンの操作、インターネット接続、パソコントラブルの解決などのパソコンサポートを体験する。パソコン技術の向上と対人関係能力の向上を目標とする。</p> <p>(2) 福祉系講座:介護・福祉体験セミナー 専門学校において、職場体験である介護・福祉の現場を理解する上で必要な基本知識を学ぶとともに、車椅子などを利用した体験活動を行う。職場体験では、通所施設において、利用者(高齢者)を対象に実施している一日のプログラム(レクリエーションなど)を体験する。実際の介護・福祉現場について理解することを目的とする。</p> <p>(3) 教育系講座:子どもふれあいセミナー 専門学校において、児童福祉についての概要を学び、保育園見学や、子どもが好むグループワークレクリエーションについても体験を通して学習する。職場体験では、フリースクールのカリキュラムに参加し、スクールの生徒との交流を深め、子どもに関する仕事についての理解・関心を深める。職場体験を通し、自己洞察を深め、自立心を涵養することを目標とする。</p>			

(4) ビジネス系講座:ホスピタリティ・コミュニケーションアップセミナー

専門学校において、職場体験であるカフェレストランの業務で必要とされるホスピタリティ(もてなしの心)について、どのように接すれば相手が喜んでくれるのかをグループワークを中心に学習する。職場体験では、カフェレストランの実践の場でのマナーや心得、身だしなみを学ぶ。実際に接客業務を実施し、希望によっては調理補助も行う。現場で働くことで、他者に対する接し方、もてなしの心を涵養することを目標とする。

(5) オフィス系講座:オフィスサポート・スタートセミナー

専門学校において、文書作成ソフトを使用したチラシの作成や簡単な案内状の作成、表計算ソフトを使用したアンケート集計の方法などを実際の作業を通して学習する。現場体験では、NPO団体が開催するセミナーの事前準備や運営補助、また事後のアンケート集計などを行う。職場体験を通じて、一つの仕事の流れを理解し、「仕事」に対する理解を深めることを目標とする。

③今後の活用

(1) NPO団体等へのコンテンツの公開

本事業で作成したプログラムを使って、NPO独自の自立支援も検討されている団体がある。また、学習教材としたいというNPO団体もあり、積極的に再利用を進めていく。

(2) 今後ものリソースとして活用

次年度も本事業を発展的に展開していくにあたり、その際の資源としての活用を図っていく。

④次年度以降における課題・展開

(1) 連携先団体(専門学校・NPO団体等)の更なる確保

職場体験は非常に有効であり、更に多様なプログラムを開発するにあたっては、連携先(専門学校・NPO・企業等)の確保が必須となってくる。

(2) フレキシブルなプログラム実施時間の設定

若年無業者の中には就労意識が芽生え始め、職場実習に積極的な取り組みをみせる方もいた。そういう意味で、個々の状況にあった、職場実習の時間設定について検討を要する。

(3) 自立支援アドバイザーの確保

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

(1) 事業申請の背景は、横浜市の「横浜市青少年自立支援研究会 提言」。若年無業者の比率が10人に1人という地域状況に鑑み、多様な主体の協働で人材を育成する「横浜キャリアコンソーシアム」の形成と、多様な職業訓練プログラムの開発の必要性が提言されており、横浜市との連携が開始された。

(2) ニート等の自立支援に取り組むNPO法人、社会福祉法人に、職業訓練のあり方等に関するヒアリング調査を実施した。当面は、短期間の講座が若年無業者にとって参画しやすいということで、1講座(座学・職場体験)を5日間程度の設定とした。

②カリキュラムの開発

若年無業者の支援に取り組まれているNPO団体の聞き取りから、彼らの関心に「パソコン」があること、基本的なコミュニケーション能力の育成が課題であることが判明し、次の5校座を設定した。

- (1) IT系講座:PCトータルサポートセミナー for LAN
- (2) 福祉系講座:介護・福祉体験セミナー
- (3) 教育系講座:子どもふれあいセミナー
- (4) ビジネス系講座:ホスピタリティ・コミュニケーションアップセミナー
- (5) オフィス系講座:オフィスサポート・スタートセミナー

各講座の形式は、専門学校での座学(4日間程度)とNPO等での職場体験(1日程度)とで構成した。プログラムの開発にあたっては、各講座の内容を「分野」に包括する専門学校が担当した。コンテンツの形式は、紙媒体のテキスト、またはプリントとした。

③実証講座

若年者無業者を対象とした自立支援のための講座を教授方法を確認するため「パイロット講座」として9月、10月に各1講座を、本事業の主講座である「若者リバイバル講座」を12月と2月に2回開催した。各講座の受講者定員は各回10名。受講者数、場所、受講者の属性等は、次の通り。

●「パイロット講座」

・オフィス系講座

9月:9時間 受講者6名 10月:9時間 受講者8名
会場:情報科学専門学校 協力:特定非営利活動法人NPO情報セキュリティフォーラム

「パイロット講座」の受講者の属性:

受講者14名中13名が男性、ほとんどの方が30歳代、横浜市内のNPO等が運営する就労支援施設の利用者

「パイロット講座」受講者の反応

就労意識が比較的高い、講座終了後、男性13名がNPO情報セキュリティフォーラムの事業運営に参加

●「若者リバイバル講座」

・IT系講座「PCトータルサポートセミナー for LAN」

12月期:28時間 受講者17名 2月期:18時間 受講者4名
会場:情報科学専門学校新横浜校、特定非営利活動法人スペースあとむ

・教育系講座「子どもふれあいセミナー」

12月期:18時間 受講者1名 2月期:15時間 受講者1名
会場:横浜保育福祉専門学校、特定非営利活動法人楠の木学園

・ビジネス系講座「ホスピタリティ・コミュニケーションアップセミナー」

12月期:24時間 受講者4名 2月期:12時間 受講者5名
会場:情報科学専門学校、若者自立塾Y-MAC アクアカフェ

・オフィス系講座「オフィスサポート・スタートセミナー」

2月期:16時間 受講者5名
会場:情報科学専門学校、特定非営利活動法人NPO情報セキュリティフォーラム

・福祉系講座「介護・福祉体験セミナー」

12月期、1月期とも申込者が各1名あったが、開講直前に受講キャンセルとなったため開講せず

「若者リバイバル講座」の受講者の属性:

受講者37名中34名が男性、年齢は平均で26.9歳、
12月期は20歳代、30歳代の方がそれぞれ46%、2月期は20歳代の方が82%
30歳代の方は就労目的、20歳代の方は学習目的での参加傾向がある

「若者リバイバル講座」受講者の反応

受講キャンセル者が目立った(45名の事前エントリーで8名がキャンセル)
パソコンに興味を持っている受講者が多かった

(1) 事業の特色

- ・行政機関(横浜市)との連携
- ・複数のNPO団体等との連携

(2) 工夫を要した点

- ・次年度に向けて事業の拡大を図るため市内の専門学校へ協議会委員へ参加いただいた